

## 梵鐘

指定区分	県指定重要文化財(工芸品)
読みかた	ぼんしょう
所在地	瀬戸内市邑久町北島 餘慶寺
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	総高94.8cm、口径59.1cm。室町時代末ごろの鑄造。池の間の銘文から、明の人が日本で鑄造させて、元亀2年(1571)に豊後国のキリスト教会に寄進したものと分かる。その後、餘慶寺に移った経緯は不明だが、寺伝では、羽柴秀吉の九州遠征に参加した宇喜多氏が岡山に持ち帰ったとされる。音色の良いことから、上寺の晩鐘として親しまれている。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	